

オオガハスの魅力発信アクションプラン
(2024～2027)
(案)

令和6（2024）年 2月

千葉市

オオガハスの魅力発信アクションプラン（2024～2027）（案） 目次

第1章 策定の背景と目的、計画期間.....	1-1
1-1 策定の背景.....	1-1
1-2 策定の目的.....	1-1
1-3 計画期間.....	1-2
第2章 千葉市のオオガハスのあゆみ.....	2-3
2-1 取り組みのあゆみ.....	2-3
第3章 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の概要.....	3-6
3-1 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の位置付け.....	3-6
3-2 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の構成.....	3-8
3-3 アクションプラン（行動計画）の行動主体.....	3-12
3-4 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の目標及び指標	3-12
第4章 方向性と各アクションプラン（行動計画）.....	4-13
4-1 方向性1 オオガハスが咲く拠点・場所づくり.....	4-13
4-2 方向性2 オオガハスに集う人・仕組みづくり.....	4-17
4-3 方向性3 オオガハスを広める活動づくり.....	4-19
4-4 方向性4 オオガハスの情報発信・話題づくり.....	4-26
第5章 スケジュール.....	5-34
5-1 アクションプランのスケジュール.....	5-34

●資料編

○語句解説	資料-41
-------------	-------



第1章 策定の背景と目的、計画期間

1-1 策定の背景

市の花「オオガハス」は、植物学者「大賀一郎」博士らが昭和26（1951）年に千葉市検見川（現：花見川区朝日ヶ丘町）で古代蓮の実を発掘し、翌年に約2000年ぶりに開花させたハスであり、以来約70年にわたって大切に系統保存がなされ、市民の間でも人気の高い花です。

また、平成28（2016）年度には、本市の都市アイデンティティの確立を目指し、『加曽利貝塚』、『千葉氏』、『海辺』とともに『オオガハス』が4つの地域資源の1つとして位置付けられました。

開花70周年に至る過程では、直近としてオオガハスのイベントや栽培などに関わる人材育成を目的とした「ハス守さん講座」の開講や、子どもたちがオオガハスに親しめるよう市内小学校への分根が進められているほか、千葉公園内の蓮華亭の展示リニューアルが令和5年3月に完了しました。

令和4（2022）年の開花70周年にはさまざまな記念事業が行われ、市民のオオガハスへの関心が高まりました。そのような中、令和4年6月25日に開催した「大賀ハス開花70周年記念フォーラム（大賀ハス開花70周年記念事業実行委員会主催）」において、10年後の開花80周年に向けて、オオガハスの魅力を国内外へさらに発信するアクションプランづくりに取り組む旨を発表しました。

また、「千葉市基本計画 第1次実施計画（令和5（2023）3月策定）」及び「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023（令和5（2023）5月策定）」において、オオガハスの「PRアクションプランの策定（仮称）」を位置付けています。

このようにオオガハスに関わる多様な方面から、次の開花80周年、さらにはその先の未来に向けて、「オオガハス」がさらに市の誇りとなるように取り組んでいくことが求められています。

1-2 策定の目的

開花80周年に向けた取組みに先立ち、千葉市の花「オオガハス」について、市民がより愛着や誇りを育むとともに、魅力発信を広く進めていくことを目的とします。

策定にあたり、令和4年度に大賀ハス開花70周年記念事業実行委員会により取りまとめられた、「大賀ハス開花80周年に向けた提言」を踏まえるとともに、“ハス守さんの活躍”や“本市各区の小さな拠点づくり”、“全国各所の分根先等への調査結果”、“オオガハスにゆかりのある都市との交流”、さらには“世界に向けた発信”といった視点が盛り込まれます。



1-3 計画期間

「オオガハスの魅力発信アクションプラン(2024~2027)」の計画期間は、令和 6 (2024) 年から令和 9 (2027) 年までの 4 年間としますが、開花 80 周年を迎える令和 14 (2032) 年を見据えた計画として位置付けます。

まずは、令和 6 (2024) 年から令和 9 (2027) 年までの 4 年間で優先的に実施をする事業等を明らかにし、次期で取り組むことが望ましい事業も合わせて整理します。

また、令和 9 (2027) 年に、オオガハスの魅力発信アクションプラン (2027~2032) の策定を予定するとともに、横浜市で開催予定の 2027 年国際園芸博覧会で、オオガハスに関する出展に向けた検討を進めます。

表 1-1 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の計画期間

和暦	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	令和 13	令和 14
西暦	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
記念事業	開花 70 周年記念事業					(開花 75 周年)					開花 80 周年記念事業
魅力発信アクションプラン		本プラン策定				次期プラン策定					
			魅力発信アクションプラン (2024~2027)				魅力発信アクションプラン (2028~2032)				
上位計画		基本計画									
		第 1 次実施計画			第 2 次実施計画			第 3 次実施計画			
		緑と水辺のまちづくりプラン 2023									
		都市アイデンティティ戦略プラン									
関連事項					千葉開府 900 年	国際園芸博覧会 (横浜市)					



第2章 千葉市のオオガハスのあゆみ

2-1 取り組みのあゆみ

オオガハスの発掘から、開花 70 年を経て、これまでのオオガハスに関する主な取り組みや出来事を整理します。

表 2-1 千葉市のオオガハスに関する主な取り組み・出来事 (1/3)

西暦	和暦	主な取り組み・出来事
1951	昭和 26	<ul style="list-style-type: none"> ・大賀一郎博士らは千葉市検見川の東京大学検見川厚生農場⁽¹⁾内の泥炭層から、古代ハスの実 3 粒の実を発掘（発掘期間 3 月 3 日～4 月 6 日、34 日間） ・3 粒の実が発芽したが、うち 2 粒は枯れ 1 粒が生長 ・3 月 30 日に出土した実生苗が立葉 8 枚の株に生長
1952	昭和 27	<ul style="list-style-type: none"> ・生長根を東京大学検見川厚生農場、千葉市千葉公園（弁天池）⁽²⁾、千葉県農業試験場⁽³⁾に分根 ・7 月 18 日 東京大学検見川厚生農場の株が開花 ・アメリカのグラフィック誌『LIFE』⁽⁴⁾に「The Oldest Flower」と掲載
1953	昭和 28	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉公園の株が初めて開花、この年 4 つの花が咲く
1954	昭和 29	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県天然記念物の指定「検見川の大賀蓮」 ・東京大学農学部園芸実験所（当時）⁽⁵⁾（花ハス研究の拠点）の開設
1955	昭和 30	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県農業試験場の株が初めて開花
1956	昭和 31	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回「千葉はすの会」⁽⁶⁾開催（千葉公園で 2000 年まで 45 回開催）
1964	昭和 39	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック開催年「大賀ハス発掘碑」を建設（東京大学検見川運動場⁽⁷⁾は、「クロスカントリー」の会場となった） ・千葉公園から東京大学検見川運動場の心字池にオオガハスを分根・移植、発掘地に“里帰り”
1967	昭和 42	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回「花園ハス祭り」⁽⁸⁾の開催（花園公園⁽⁹⁾で地域住民主催による）
1968	昭和 43	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉公園のオオガハスが腐敗病で枯れ始めるが、土壌入れ替え・消毒で回復する
1987	昭和 62	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山大賀ハス保存会⁽¹⁰⁾から舞妃蓮⁽¹¹⁾・中日友誼蓮⁽¹²⁾を分根、みなと公園⁽¹³⁾に植え付け ・開花 35 周年記念の特別展「千葉の大賀ハス」、講演会の開催
1988	昭和 63	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市立郷土博物館が記念誌「大賀ハス」を編集・発行



表 2-1 千葉市のオオガハスに関する主な取り組み・出来事 (2/3)

西暦	和暦	主な取り組み・出来事
1990	平成 2	・「国際花と緑の博覧会」 ⁽¹⁴⁾ (大阪) に「蓮華汀」 ⁽¹⁵⁾ を出展しオオガハスのほか花ハス 12 種を展示
1993	平成 5	・政令指定都市移行の記念に市の花として「オオガハス」を選定 ・千葉公園ハス池 ⁽¹⁶⁾ 等の整備に合わせ、記念式典及びオオガハスの植え付け祭 (106 カ所、900 m ² 318 株) を開催
1994	平成 6	・千葉公園ハス池の畔に蓮華亭 ⁽¹⁷⁾ (ホール、展示等) を建設
2001	平成 13	・花園ハス祭り実行委員会 ⁽¹⁸⁾ が「二千年の眠りから覚めて 大賀ハス開花五十周年記念誌」を編纂、発行
2003	平成 15	・花のあふれるまちづくりのシンボルキャラクターとして、市の花・オオガハスの妖精をイメージした「ちはなちゃん」を制定
2007	平成 19	・東京大学が検見川の「東京大学緑地植物実験所」の移転・売却計画を発表
2008	平成 20	・千葉市議会で「緑地植物実験所の存続を求める請願」 ⁽¹⁹⁾ を全会一致で採択 ・花びと会ちば ⁽²⁰⁾ の主催で「オオガハスの観察会」 ⁽²¹⁾ を開催 (平成 22~27 年は「大賀ハスを観る会」 ⁽²²⁾ として開催) ・オオガハス等を訪ねる「駅からハイキング」 ⁽²³⁾ を平成 20 (2008) 以降、現在 (令和 5(2023)年) に至るまで、計 14 回開催
2012	平成 24	・開花 60 周年のリーフレット制作、ミニ企画展開催 ・開花 60 周年を記念し、千葉公園にて、オオガハスの系統保存の開始 ・東大緑地植物実験所が閉鎖 ・地域住民による「大賀ハスのふるさとの会」 ⁽²⁴⁾ が発足。同会によりハス見本園の管理・育成、花園ハス祭り観蓮会を開催
2015	平成 27	・成田空港に建設された「蓮の和風庭園」に千葉公園のオオガハスを分根
2016	平成 28	・「大賀ハスを観る会」から「大賀ハスマつり」 ⁽²⁵⁾ と改称し、規模を拡充し 9 日間連続のイベントとして開催 ・千葉市の都市アイデンティティを形成する「4 つの地域資源」 ⁽²⁶⁾ の一つに「オオガハス」を選定
2017	平成 29	・花見川区の新設図書館名称を、公募で「千葉市みずほハスの花図書館」 ⁽²⁷⁾ に決定 ・開花 65 周年記念の「大賀ハスシンポジウム」を市民団体主催で開催
2018	平成 30	・千葉市の花オオガハス制定 25 周年記念シンポジウム ⁽²⁸⁾ 開催 (千葉市、花びと会ちば共催) ・ハス守さん養成講座 ⁽²⁹⁾ 開始 (以後毎年継続中)



表 2-1 千葉市のオオガハスに関する主な取り組み・出来事 (3/3)

西暦	和暦	主な取り組み・出来事
2019	令和元	・花見川区役所正面ガラス窓に花園中学校美術部制作のオオガハスのイメージ画をラッピング（花見川区役所）
2020	令和2	・オオガハスの子供向け紙芝居を制作（花見川区役所） ・花見川区役所ロビー壁面にオオガハスの4日間パネルを制作（花見川区役所） ・JR千葉駅内で千葉公園ハス池の開花数の周知をするスタンドパネルを臨時設置
2021	令和3	・JR新検見川駅に「オオガハス案内マップ」「ちはなちゃんデザインマンホール蓋」を設置 ・大賀ハス開花70周年記念事業 ⁽³⁰⁾ の実行委員会準備会を発足
2022	令和4	・大賀ハス開花70周年記念フォーラム開催等、記念事業実施 ・千葉公園近くポストに、オオガハスをイメージしたラッピング実施
2023	令和5	・千葉公園蓮華亭の展示のリニューアル ・オオガハス開花期間中にJR千葉駅千葉公園口から千葉公園南門までに案内路面シートの貼付 ・「大賀ハスマつり」にハス守さんがボランティア参加開始 ・「オオガハスの魅力発信アクションプラン」検討着手

資料：「オオガハス開花70周年記念誌」 オオガハス開花70周年記念事業実行委員会
2023年3月発行 p28からp29を引用し、同資料の記載内容をもとに加筆
※表中の(1)～(30)の語句について解説を巻末に記載する。



写真 「千葉はすの会」の様子
(昭和43(1968)年7月18日撮影)



写真 学校分根事業 オオガハスを写生する児童たち(若葉区)



写真 千葉公園の系統保存技術講習会



写真 千葉公園近くのポストラッピング



第3章 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の概要

3-1 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の位置付け

本プランの策定にあたり、関連する千葉市の上位計画、アクションプランに位置付ける具体的な事業等（継続・新規・拡充）、及び関連する提言との位置づけを整理します。

(1) 千葉市の関連上位計画

- 千葉市基本計画（計画期間：令和 5～14 年度 [2023～2032 年度]）
- 第 1 次実施計画（計画期間：令和 5～7 年度 [2023～2025 年度]）
- 緑と水辺のまちづくりプラン 2023（計画期間：令和 5～14 年度 [2023～2032 年度]）
- 都市アイデンティティ戦略プラン（計画期間：平成 28～令和 8 年度 [2016～2026 年度]）

- ・本プランは、緑と水辺のまちづくりプラン 2023 と都市アイデンティティ戦略プランから即します。
- ・第 1 次実施計画は千葉市基本計画の最初の 3 年間で計画期間であり、重点的に取り組む具体的な事業を明らかにする計画です。
- ・本プラン内容を、第 2 次、第 3 次実施計画に反映していくことを目指します。

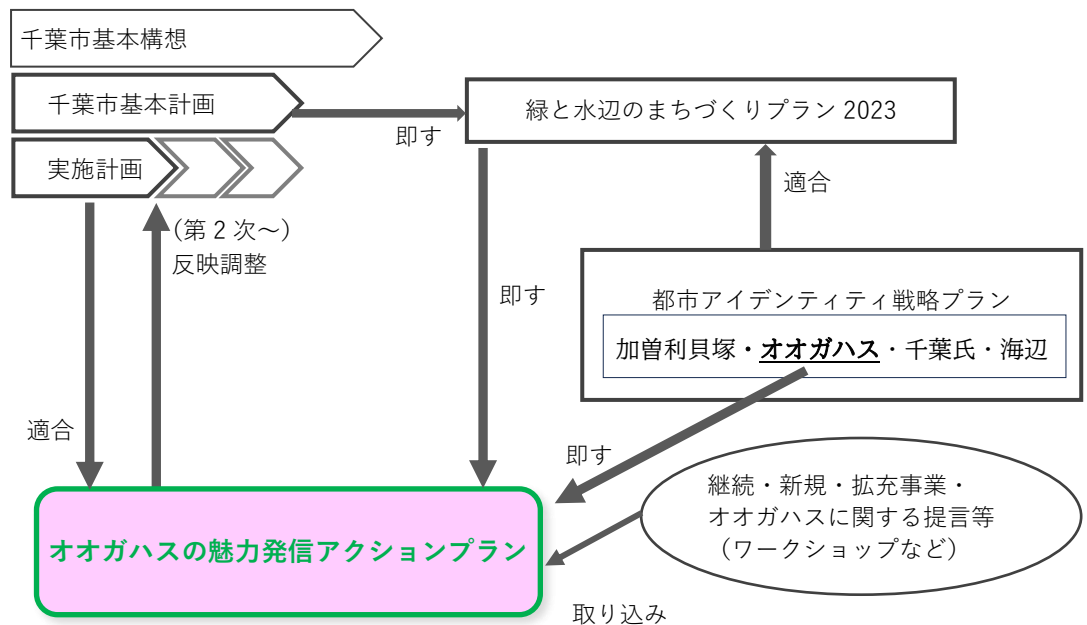


図 3-1 オオガハスの魅力発信アクションプランの位置付け



(2) 関連事業

オオガハスに関連する事業（継続・新規・拡充）について、本プランに盛り込み整理します。

(3) オオガハスに関する提言等

○政策提言報告書「大賀ハスのまち活性化プロジェクト」平成 30（2018）年 3 月（千葉市まちづくり未来研究所（第 2 期））

- ・現状把握などに基づき、多岐に渡る提言が整理されており、本プランの検討過程で参考とします。

○大賀ハス開花 80 周年に向けた提言 令和 5（2023）年 3 月（大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会）

- ・70 周年記念フォーラムにて示された「オオガハスの魅力を発信するためのプランづくりの取組み」を受けて、ワークショップ形式にて 80 周年に向けた提言づくりが実施されました。

参加者は、大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会を中心に、ちば産学官連携プラットフォームの大学から学生の参加もありました。

本プラン策定過程では、この内容を十分に踏まえて検討します。

●大賀博士により千葉市で発見されたオオガハス●

1951（昭和 26）年、植物学者大賀一郎博士を中心に地元小・中学生、一般市民など多くの人の協力によって、千葉市花見川区朝日ヶ丘町の現・東京大学検見川総合運動場で、推定 2,000 年以上前の古代ハスの実を 3 粒発掘しました。

そのうち 1 粒が順調に生育し、翌年 1952（昭和 27）年 7 月 18 日、奇跡的に大輪の花を咲かせました。

古代ハスの実を発見し発芽させた大賀博士の名にちなんで「オオガハス」と名付けられ 1993（平成 5）年に市の花に制定されました。

現在では、国内外 200 カ所以上に分根され、友好と平和の使者として親しまれています。



発掘現場：泥炭地で崩れやすいので土留めをして掘削している



発掘作業に参加する児童たち



開花 2 日目の花を愛でる大賀博士

ちはなちゃんの豆知識 1





3-2 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の構成

前項に示した本プランの位置付けと、これまでの様々なオオガハスの取組みや事業を取り込んだ体系的なアクションプランとします。

全体のテーマと4つの方向性を整理した上で、具体的なアクションプラン（行動計画）を整理します。

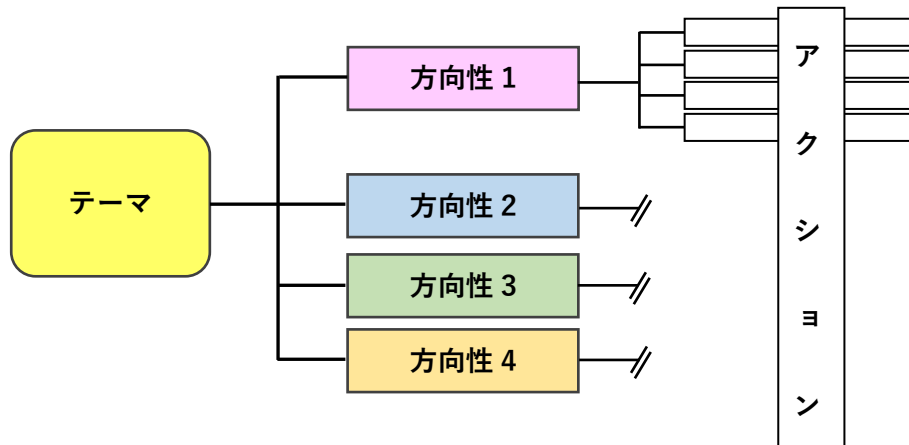


図 3-2 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の構成

(1) テーマ

テーマ	オオガハスでつながる 身近な暮らしと 広がる世界
-----	--------------------------

本プランのテーマは、次なる節目の開花 80 周年、さらにその先の未来に向かっていく姿として「オオガハスでつながる 身近な暮らしと 広がる世界」とします。千葉市で太古の眠りから開花したオオガハスは、その後の多くの人々や市民の取組みで受け継がれ、市の花として親しまれるにとどまらず、魅力が国内外にも広がっています。

テーマの趣旨は、オオガハスゆかりの都市間交流にて多くの人々をつなぐりを深めること、市内に設ける身近な“小さな拠点”などの暮らしの中で触れ合うこと、また、2027 年国際園芸博（横浜市）などの取組みで世界を広げることといった主要なアクションプランを表現しながら、オオガハスを主軸として捉え、千葉市民が誇りを持ってまちづくりを進めていく姿を示すものです。



(2) 方向性

本プランでは、先に示したテーマをもとに、取組みの方向性を示します。
 方向性ごとに、具体的な事業や取組みの内容を示すアクション（行動）が連動するイメージで、全体を体系化しています。

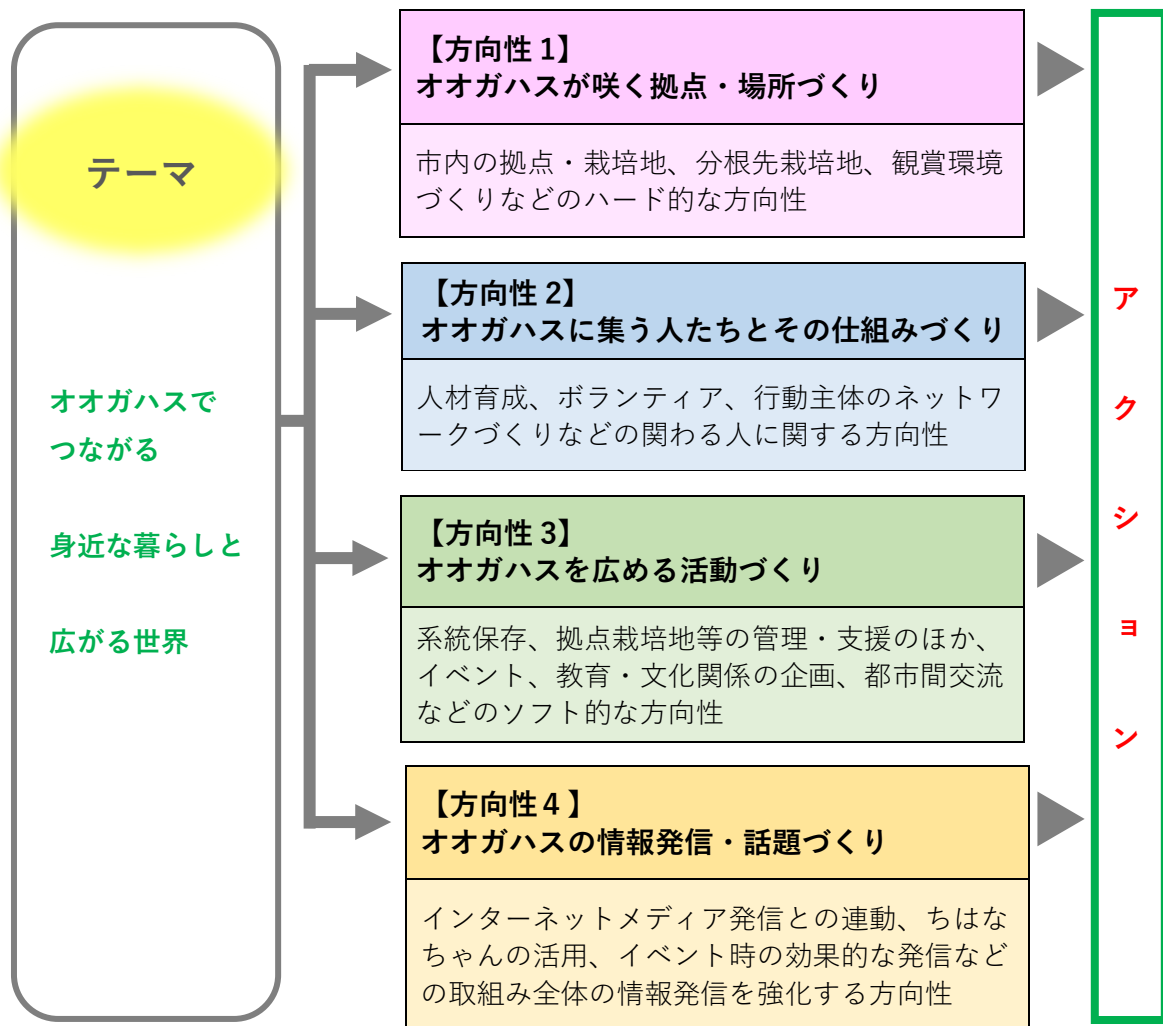


図 3-3 テーマと方向性



(1) アクションプラン（行動計画）一覧

本プランの具体的な取組みを示す各アクションプラン（行動計画）を、前述した取組みの「方向性」に紐づけてツリー構成で項目を整理します。

【方向性1】 オオガハスが咲く拠点・場所づくり	▶	【方向性1】のアクションプラン	
		①千葉公園の拠点栽培地の整備・更新	a 中心拠点栽培地の整備
			b 蓮華亭の展示物の更新
	▶	②”小さな拠点”の設定・整備	a 市内各区の”小さな拠点”の選定
			b ”小さな拠点”の整備・充実
	▶	③学校分根の充実	a 学校分根事業の継続・充実
▶	④プランター展示	a 系統保存のオオガハス展示	
▶	⑤アクセスルート整備	a 千葉公園アクセスルート整備	
		b 花見川区アクセスルート整備	
【方向性2】 オオガハスに集う人・仕組みづくり	▶	【方向性2】のアクションプラン	
		⑥ハス守さん養成・フォローアップ	a ハス守さん養成講座の継続・充実
			b フォローアップ開講・充実
	▶	⑦ハス守さんの活動の場づくり	a ハス守さんとの連携
	b 年間活動スケジュールの設定		
【方向性3】 オオガハスを広める活動づくり	▶	【方向性3】のアクションプラン	
		⑧系統保存・栽培管理の継続・支援	a 系統保存の継続
			b 中心拠点栽培地の管理
			c 栽培地・活動団体への支援
	▶	⑨大賀ハスまつりの開催	a 大賀ハスまつりの開催
			b 関係団体の役割分担設定
	▶	⑩関連イベント開催・参加・連携	a YohaS
			b ちはなちゃんのお誕生日会
			c 市内の観蓮会等との連携
	▶	⑪教育・普及を推進するコンテンツづくり	a 子ども向けコンテンツ企画・制作・活用・開催
			b 市民向けコンテンツ企画・制作・活用・開催
			c 小中学校”出前講座”の展開
	▶	⑫ハスと絡めた生活文化コンテンツづくり	a 衣食住に係るハスグッズ等の展開
▶	⑬オオガハスゆかりの都市などとの交流事業	a 全国のゆかりの都市や文化施設との交流	
		b 県内の栽培地との交流	



【方向性4】
 オオガハスの情報発信・話題づくり

【方向性4】のアクションプラン		
▶ ⑭オオガハスの魅力発信アクションプラン(2028~2032) 策定	a	次期魅力発信アクションプラン策定
▶ ⑮インターネットメディア発信と連動したPR展開	a	公式Webサイトの継続・充実
	b	公式SNS発信の継続・充実
	c	市民等のSNS等による情報交流
	d	パブリシティ活動の充実
	e	千葉県観光プロモーションとの連携
▶ ⑯ちはなちゃんのPR活用	a	ちはなちゃんの積極的活用
	b	ちはなちゃん着ぐるみの更新・管理
	c	ちはなちゃんの多様な展開
▶ ⑰コンテンツによる効果的PR	a	プロジェクションマッピング等による効果的なPR
	b	JR千葉駅前の立体花壇の更新
	c	デジタルサイネージ等による広報
	d	公共施設の装飾や演出
	e	第41回全国都市緑化かわさきフェア(R6(2024)年度)への出展
▶ ⑱2027国際園芸博覧会の出展	a	屋外出展によるPR
	b	催事出展によるPR



3-3 アクションプラン（行動計画）の行動主体

アクションプラン（行動計画）の内容について、取り組んでいく行動主体を以下に挙げています。

取組みにより、複数の行動主体による連携・協働も考えられます。

表 3-1 アクションプラン（行動計画）の行動主体

区分	行動主体の概要
ハス守さん	・オオガハスに関する知識や栽培方法を養成講座で学び認定を受けた、学習・栽培・ガイド・イベント等で活動できるボランティア。
オオガハス関連団体	・千葉市内で、オオガハスの栽培や管理、普及・啓発等の活動を行っている団体。
市民	・ボランティア活動やイベントの参加、個人レベルの発信などを担う市民の方々。
行政	・千葉市

3-4 「オオガハスの魅力発信アクションプラン」の目標及び指標

本プランで示されたアクションプラン（行動計画）の取組みにより、千葉市の花「オオガハス」について、市民がより愛着や誇りを育むとともに、魅力発信を広く進めていくことで、市内外にオオガハスが十分に認知されている状態を目指します。

目標達成度を把握する指標として、本プランが則している「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」に示された指標を参考に用います。

○目標達成度の指標

項目	対象	H26(2014)年度	R2(2020)年度	R8(2026)年度	R9 (2027)年度
		アンケート	アンケート	都市 ID 目標	本プラン目標
オオガハスの好感度	市内	80.6%	74.2%	4 資源平均 80%以上	80%以上
	県外	63.2%	51.0%	2014 年度から 向上	2014 年度から 向上
オオガハスの理解度	市内	—	49.2%	4 資源平均 60%以上	60%以上

資料：「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」（改訂版） 令和4（2022）年3月
千葉市



第4章 方向性と各アクションプラン（行動計画）

本プランのテーマ達成に向けて、取組みの方向性ごとのアクションプラン（行動計画）を示します。

4-1 方向性1 オオガハスが咲く拠点・場所づくり

すべての取組みの基本となる、オオガハスの市内の拠点や栽培地、学校分根、観賞環境の整備などハード面に関する方向性です。

(1) 方向性1のアクションプラン（行動計画）

方向性1の5項目（①～⑤）のアクションプランについて、以下に示します。

※詳細は次ページ以降

【方向性1】のアクションプラン			内 容
①千葉公園の拠点栽培地の整備・更新	a	中心拠点栽培地の整備	<input type="checkbox"/> 千葉公園再整備 <input type="checkbox"/> 系統保存栽培地の継続、施設等の充実
	b	蓮華亭の展示物の更新	<input type="checkbox"/> 展示施設の更新
②”小さな拠点”の設定・整備	a	市内各区の”小さな拠点”の選定	<input type="checkbox"/> 候補地をもとに選定
	b	”小さな拠点”の整備・充実	<input type="checkbox"/> 各区”小さな拠点”の鑑賞環境等の整備
③学校分根の充実	a	学校分根事業の継続・充実	<input type="checkbox"/> 現状把握の整理
			<input type="checkbox"/> 学校分根の継続
④プランター展示	a	オオガハスの展示	<input type="checkbox"/> 開花時期のプランター展示（本庁舎・花見川区役所・JR千葉駅南口他）
⑤アクセスルート整備	a	千葉公園アクセスルート整備	<input type="checkbox"/> ルートの検討
			<input type="checkbox"/> 案内板等親しみ感、利用しやすさの向上
	b	花見川区アクセスルート整備	<input type="checkbox"/> ルートの検討
			<input type="checkbox"/> 案内板等親しみ感、利用しやすさの向上

凡例 行動主体	
<input type="checkbox"/> ハス守さん……………	ハス守 団体 市民 行政
<input type="checkbox"/> オオガハス関連団体…	
<input type="checkbox"/> 市民……………	
<input type="checkbox"/> 行政……………	



⑮ 千葉公園の拠点栽培地の整備・更新

千葉公園内の綿打池脇のハス池は、千葉市の政令指定都市への移行(平成4(1992)年4月)を記念に、木道と芝生広場とともに整備(平成5(1993)年)され、千葉市のオオガハス栽培の中心的な拠点となっています。

進行中の千葉公園再整備において、オオガハスの拠点施設の充実を進めるほか、令和5(2023)年3月にリニューアルが完成した蓮華亭の展示施設等についても、引き続き更新を行います。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	中心拠点栽培地の整備	<ul style="list-style-type: none"> 千葉公園再整備におけるハス池周辺の園路拡幅や栽培地の増設 系統保存栽培地として継続する為の施設等の充実
b	蓮華亭の展示物の更新	<ul style="list-style-type: none"> 展示物などの更新

⑯ “小さな拠点”の選定・整備

市民が身近な環境でオオガハスに親しみ、活動に参加できる場として、市内各区に1箇所、“小さな拠点”を選定します。

選定以降は、各“小さな拠点”の状況に応じて、各行動主体も整備や維持管理に関わっていきます。

令和9年までの4年間で、3区(花見川区、緑区、美浜区)における“小さな拠点”の選定及び整備の実施を予定します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	市内各区の”小さな拠点”の選定	<ul style="list-style-type: none"> 候補地の施設などの管理者へ意向や課題等を確認して、選定 候補地は、花見川区(しらさぎ公園、花園公園、花園公民館他)、緑区(泉谷公園他)、美浜区(見浜園他)
b	”小さな拠点”の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 選定後、必要に応じて、栽培地やプランター設置場所の整備・充実



⑰ 学校分根の充実

市の花としての周知や体験学習の機会づくりなどを目的として、市内小学校を対象に平成 29（2017）年から学校分根事業を実施しており、令和 4（2022）年度末までに 40 校の実績があります。

子どもたちがオオガハスに直接触れられる環境づくりとして今後も継続します。

学校分根を受けた学校に対して、定期的にアンケートによる現状把握を行い、今後の事業継続及び、充実に活かしていきます。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
アクションリスト		内 容
a	学校分根の継続・充実	・学校の現状の把握・整理を行いハード面の支援策の検討。

⑱ プランター展示

オオガハスの実物をより多くの人に見て知ってもらうため、開花期には千葉市本庁舎、花見川区役所、JR 千葉駅南口などでプランター展示します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
アクションリスト		内 容
a	オオガハスの展示	・開花時期におけるプランター展示（本庁舎・花見川区役所・JR 千葉駅南口他）

⑲ アクセスルート整備

オオガハスの中心拠点である千葉公園及び花見川区検見川地区へのアクセスルートについて、ルート設定、求められる改善点や雰囲気づくりなどについて検討していきます。

また、千葉公園通りにおけるウォーカブル推進の取組みも含め、既にあるウォーキングルートや今後の類似の取組みとの連携を図っていきます。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
アクションリスト		内 容
a	千葉公園アクセスルート整備	・関係団体や地元からの意見や協力も得ながらルート検討 ・案内板類の充実や歩行性などの改善等による、親しみ感や利用しやすさの向上
b	花見川区アクセスルート整備	



● 中心的拠点 千葉公園の蓮華亭とハス池 ●

1951（昭和 26）年、検見川の旧東京大学厚生農場で発掘され、発芽し成長したレンコン 3 本の内 1 本が、1952（昭和 27）年 4 月、千葉公園弁天池の一面に植え付けられました。そのレンコンは、1953（昭和 28）年 8 月に初めて開花し、その後、南門脇荒木山展望台の横にもハス池が整備され、古代ハスを愛でる風流人の集いとして、「千葉はすの会」が昭和 31（1956）年から平成 12（2000）年まで、毎年オオガハスの開花記念日である 7 月 18 日に開催されました。



ハス池の全景

1992（平成 4）年に千葉市の政令指定都市への移行を記念に、1993（平成 5）年 3 月綿打池脇に広さ 900 m²のハス池と、ハスを間近で眺められる木道と芝生広場を整備し、翌年にはハスの展示施設である蓮華亭が建設され、市内で最も充実したオオガハスの栽培、展示、鑑賞施設となりました。

毎年、オオガハスの開花時期には、「大賀ハスまつり」なども行われ、親しまれています。



蓮華亭と木道が整備されたハス池



展示リニューアルが令和 5（2023）年 3 月に完了した蓮華亭

ちはなちゃん
の豆知識 2





4-2 方向性2 オオガハスに集う人・仕組みづくり

オオガハスの栽培や魅力発信などの取組みに関わる、人材育成、ボランティアの体制、行動主体のネットワークづくりなど、関わる人に関する方向性です。

(1) 方向性2のアクションプラン（行動計画）

方向性2の3項目（⑥～⑦）のアクションプランについて、以下に示します。

【方向性2】のアクションプラン			内 容
⑥ハス守さん養成・フォローアップ	a	ハス守さん養成講座の継続・充実	<input type="checkbox"/> ハス守さん養成講座の継続
			<input type="checkbox"/> 養成講座内容の見直し
	b	フォローアップ開講・充実	<input type="checkbox"/> フォローアップ講座内容の検討
			<input type="checkbox"/> フォローアップ講座の実施
⑦ハス守さんの活動の場づくり	a	ハス守さんとの連携	<input type="checkbox"/> 連絡体制、情報共有手段の検討、設定
	b	年間活動スケジュールの設定	<input type="checkbox"/> 活動日の年間スケジュール設定、周知

凡例 行動主体	
<input type="checkbox"/> ハス守さん……………	ハス守 団体 市民 行政
<input type="checkbox"/> オオガハス関連団体…	
<input type="checkbox"/> 市民……………	
<input type="checkbox"/> 行政……………	

⑥ ハス守さん養成・フォローアップ

オオガハスの知識や栽培方法を習得し、オオガハスに関する学習・栽培・ガイド・イベント等のボランティアとして活躍する人材の養成を目的に、平成30（2018）年から養成講座が始まりました。1年間を通した講座で、修了後は「ハス守さん」に認定されます。令和4（2022）年度末時点で、5期を終え、計53名の「ハス守さん」が誕生しています。

この「ハス守さん」養成講座の継続とともに、講座内容の改善や学び直しなどの機会となるフォローアップ講座を検討、実施していきます。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	ハス守さん養成講座の継続・充実	・講座内容・規模を継続し、ニーズに応じた講座の充実
b	フォローアップ開講・充実	・養成講座開設から5年以上が経過し、学び直しなどの機会となるフォローアップ講座の開講・充実



⑦ ハス守さんの活動の場づくり

養成講座開設から5期が経過し、50名以上のハス守さんが認定されています。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、イベント等の復活に伴いボランティア活動機会の増加も見込まれるため、ハス守さん同士の会合等を通して、連絡体制や情報共有手段などを検討します。

また、千葉市と連携し合って、ボランティア活動が行えるよう、活動日などについて、年間の活動スケジュールを立てて、関係者に周知します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	ハス守さんとの連携	・ボランティア活動などに対応するため、連絡体制や情報共有手段の検討、設定
b	年間活動スケジュールの設定	・ボランティア活動などの年間スケジュール設定と周知

●ハス守さん養成講座●

ハス守さんとは、オオガハスに関する知識や栽培方法を習得し、オオガハスの名所や栽培地における学習・栽培・ガイド・イベント等のボランティアとして活躍する人材です。

千葉市では、こうした人材を養成するため、平成30(2018)年度より「ハス守さん養成講座」を開催しています。令和4(2022)年度末までに5期、合計53名がハス守さん認定を受けています。

講座では、主に千葉公園の蓮華亭やハス池を活用して、以下のような実習等が行われています。

- ・オオガハスの由来や生態について
- ・オオガハスの管理実習(植え替えや栽培管理)
- ・「大賀ハスマ祭り」への参加

今後、大賀ハスマ祭りやハスの栽培場所等でのボランティア活動の活発化が期待されています。



ハス守りさん養成講座(座学)



観蓮会会場での講師による解説



ハスの分根実習

ちはなちゃんの豆知識3





4-3 方向性3 オオガハスを広める活動づくり

オオガハスの系統保存や拠点栽培地等の管理・支援のほか、好感度や理解度の向上につながるイベント、教育・文化関係の企画、都市間交流などソフト的な方向性です。

(1) 方向性3のアクションプラン（行動計画）

方向性3の7項目（⑧～⑬）のアクションプランについて、以下に示します。

※詳細は次ページ以降

【方向性3】のアクションプラン		内 容	
⑧系統保存・栽培管理の継続・支援	a	系統保存の継続 <input type="checkbox"/> 系統保存栽培維持管理体制の継続	
	b	中心拠点栽培地の管理 <input type="checkbox"/> 千葉公園栽培地及び周辺環境の管理	
	c	栽培地・活動団体への支援 <input type="checkbox"/> 「オオガハス文化伝承事業」による支援 <input type="checkbox"/> ”小さな拠点”や市内学校分根先への栽培管理支援	
⑨大賀ハスマつりの充実	a	大賀ハスマつりの開催 <input type="checkbox"/> 開催継続と、持続性ある運営手法の検討	
	b	関係団体の役割分担設定 <input type="checkbox"/> ハス守さんの役割分担の設定	
⑩関連イベント開催・参加・連携	a	YohaS <input type="checkbox"/> 開催の継続や運営上の課題の改善 <input type="checkbox"/> PR効果の高いコンテンツ導入の検討	
		ちはなちゃんのお誕生日会 <input type="checkbox"/> 親しまれる子どもイベントとして継続	
	c	市内の観蓮会等との連携 <input type="checkbox"/> 市民団体による観蓮会等との連携	
⑪教育・普及を推進するコンテンツづくり	a	子ども向けコンテンツ企画・制作・活用・開催 <input type="checkbox"/> 絵本等親しみやすい教材等の作成・活用 <input type="checkbox"/> 絵画など作品コンクール等の催し <input type="checkbox"/> 「千葉市民の日」の共通メニュー	
		b	市民向けコンテンツ企画・制作・活用・開催 <input type="checkbox"/> 市民講座など学びの機会の開催 <input type="checkbox"/> 写真など作品コンテンツ等の催し <input type="checkbox"/> 音楽や演劇など芸術活動と連携した企画
			c
	⑫ハスと絡めた生活文化コンテンツづくり	a	衣食住に係るハスグッズ等の展開 <input type="checkbox"/> ハスをデザインした衣類やグッズ展開 <input type="checkbox"/> ハス素材を活用した工芸物や食品の展開
			⑬オオガハスゆかりの都市などとの交流事業
	b	県内の栽培地との交流 <input type="checkbox"/> 県内の分根先等の現状把握、交流先選定 <input type="checkbox"/> 情報交換、イベント等の連携	

凡例 行動主体	
○ハス守さん……………	ハス守 団体 市民 行政
○オオガハス関連団体…	
○市民……………	
○行政……………	



⑧ 系統保存・栽培管理の継続・支援

千葉公園の系統保存栽培を継続します。また、千葉公園ハス池では、現在区画を3つに分け、3年間かけて植替え作業を実施しており、今後も継続していきます。

オオガハス発祥の地に隣接する東京大学旧緑地植物実験所の栽培管理は、「オオガハス文化伝承事業」の補助を受けながら活動団体のボランティア活動で行われており、必要な支援などの検討を進めていきます。

市内の学校分根事業実施校や、今後選定する“小さな拠点”施設に対して、市で行っている系統保存講習会の参加を推進するほか、栽培管理上の支援策の一つとして、ハス守さんが担うことを検討します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	系統保存の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握整理 ・系統保存栽培の維持管理体制の継続
b	中心拠点栽培地の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉公園ハス池の栽培環境の把握整理 ・現状の栽培管理の継続
c	栽培地・活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「オオガハス文化伝承事業」による東京大学旧緑地植物実験所の活動支援の継続 ・市内学校分根先や“小さな拠点”へハス守さんや施設管理者による栽培管理支援を検討



⑨ 大賀ハスマつりの開催

大賀ハスマつりは、千葉市と市民団体「花びと会ちば」との共催により、オオガハスの開花時期に合わせて、千葉公園の蓮華亭周辺で 6 月の中旬から下旬にかけて行われるイベントで、今後も、オオガハスの中心的イベントとして、内容やコンテンツをニーズに応じて充実するとともに、持続性ある事業として、開催運営手法などの改善を検討します。

また、イベント内でハス守さんの役割を明確にし、オオガハスのPR効果を高めます。

令和 8 (2026) 年の千葉開府 900 年は、大賀ハスマつり 10 周年にあたり、ゆかりのある都市間交流の企画を盛り込むなど、節目の年としてより充実した開催を目指します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	大賀ハスマつりの開催	・開催の継続と、持続性ある運営手法（専門業者への外注等）の検討
b	関係団体の役割分担設定	・ハス守さんが活動しやすい役割分担の設定

⑩ 関連イベント開催・参加・連携

オオガハスに関連するイベント等の開催、参加、連携を進めます。

夜のイベント「YohaS」は平成 30 (2018) 年度から「大賀ハスマつり」の夜の部として始まり、千葉公園で千葉市と一般社団法人千葉公園 YohaS 振興会が共催しています。若年層を中心として、市内外へ幅広くオオガハスのある千葉公園の活性化に資するイベントとして、継続していきます。

子どもを対象としたオオガハスに親しむ機会として、ちはなちゃんの誕生日である 11 月 21 日前後に「ちはなちゃんのお誕生日会」を令和 2 年度から開催しており、オオガハスのオフシーズンであっても、広く PR 効果が期待できるため、継続して実施します。

さらに、オオガハスの魅力を多くの方が共感するきっかけとして、市民団体などが開催する観蓮会等と連携します。



アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	YohaS	・開催の継続や運営上の課題の改善 ・PR効果の高いコンテンツ導入の検討
b	ちはなちゃんのお誕生日会	・子どもに親しまれる毎年イベントとして継続
c	市内の観蓮会等との連携	・市民団体による観蓮会等（東京大学旧緑地植物実験所のハス品種見本園など）との連携

●大賀ハスマつりとちはなちゃんのお誕生日会●

大賀ハスマつりは、市民団体「花びと会ちば」と千葉市との共催で開催され、千葉市の花「オオガハス」の開花時期に合わせて、千葉公園蓮華亭周辺で行われます。

令和5（2023）年度はまつり期間中、以下のようなイベントなどが行われました。

- ・象鼻杯の体験・楽器演奏・オオガハスガイド
- ・キッチンカー・物品販売・ミニ講座
- ・ちはなちゃんのお散歩等



大賀ハスマつりのパンフレット



象鼻杯の体験の様子

ちはなちゃんのお誕生日会は、令和2（2020）年度から、ちはなちゃんが制定された11月21日を誕生日として、その日に近い休日に開催する誕生日を祝うイベントです。

令和5（2023）年のお誕生日会ではおもに子どもや親子を対象として、セレモニー、読み聞かせ、写真撮影会などのほか、以下の体験イベントなどが行われました。

- ・親子寄せ植え教室・クリスマスリース作り・コケ玉づくり
- ・ちはなちゃんグッズ販売・昔あそび・ぬりえ・野菜スタンプ・バルーンアート



ちはなちゃんお誕生日会セレモニー



体験イベント（クリスマスリース作り）

ちはなちゃんの豆知識 4





⑪ 教育・普及を推進するコンテンツづくり

主に市民向けにオオガハスの好感度や理解度の向上を図るため、年代など PR 対象に合わせたコンテンツづくりを進めます。

子ども向けの展開としては、既存のものに加えて、親しみやすく分かりやすい教材や副読本の企画制作や、絵画コンクール等の体験・体感する機会づくりを図ります。

一般市民向けの展開としては、市民講座、市民コンテンツ、芸術活動の発表などとの連携を検討します。

また、オオガハスと関連したコンテンツを企画・検討する際は、関連する団体等の知見や人材の協力を得た協働作業で、内容の質が高まり、関心を引く対象が広がるなど PR 効果の向上に努めます。

さらに、学校分根事業による栽培の取組みがある小中学校や要望のある学校に対して、オオガハスの“出前講座”の実施を次期プラン（R10～R14）に予定します。現状では、ハス活動団体に活動の実績があり、ハス守さんのボランティア活動の一つとすることを本プラン（R6～R9）から検討します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	子ども向けコンテンツの企画・制作・活用・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居など親しみやすい副読本や教材等の作成・活用（既存のもの活用） ・オオガハスを題材とした絵画など作品コンクール等の催し（緑と水辺の絵画コンクールの活用） ・「千葉市民の日」の学校給食に共通メニュー「ちはなちゃんゼリー」を提供
b	市民向けコンテンツの企画・制作・活用・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座など学びの機会の開催（4 地域資源との連携） ・オオガハスを題材とした写真などの作品コンテンツ等の催し ・オオガハスをテーマとした音楽や演劇など芸術活動と連携した企画展開
c	小中学校“出前講座”の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・展開手法等の検討 ・講座内容、講師の設定（ハス守さん） ・講座を担うハス活動団体や市民ボランティアの支援



⑫ ハスと絡めた生活文化コンテンツづくり

ハスと絡めた衣食住の生活文化コンテンツづくりを進めます。日常の生活や楽しみの中にハスが溶け込むことで、オオガハスの好感度・理解度の向上が期待できます。

衣食住に係るハスグッズの展開では、ハスをデザインした衣類やグッズを企画・商品化し、オオガハスのPRにも活用していきます。企画・開発過程では、市民やハス団体なども巻き込みながら、話題づくりも行います。

また、ハス由来の素材（果托、実、葉柄など）を利用した工芸物や食品については、ハス団体や事業者の協力により展開します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	衣食住に係るハスグッズ等の展開	<ul style="list-style-type: none">・ハスをデザインした衣類やグッズ開発を市民、団体等を巻き込んで展開・ハス素材を活用した工芸物や食品をイベント時にハス団体や事業者と共に展開



⑬ オオガハスゆかりの都市などとの交流事業

オオガハス発祥の地としての魅力を発信する機会を広げるとともに、オオガハスをきっかけに“訪れたいまち”としてのまちづくりに寄与するため、ゆかりのある都市及び文化施設などとの交流事業を実施します。

本プラン策定時に全国の分根先の施設等へ現状把握の調査を行った結果を踏まえ、栽培管理及びその体制が確立され、観光や地域の資源としてオオガハスに関する取組みがある都市や、オオガハスを含めた歴史文化の香りを有する施設などを選定し、市民レベルの学びや交流を深める機会づくりへと進めていきます。

また、現在のオオガハスの有無に関わらず、今後の交流事業候補地へ分根を行っていきます。

さらに、より身近な千葉県内の分根栽培地についても同様に現状把握し、情報交換やイベント連携などの交流活動を進めていきます。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	全国のゆかりの都市や文化施設との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の分根先等の現状把握に基づき、交流都市を選定 ・都市や文化施設と調整、ネットワーク構築 ・交流候補地への分根 ・取組みや栽培技術等の情報交換、市民交流企画の展開
b	県内の栽培地との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の分根先等の現状把握に基づき、交流都市の選定 ・取組みや栽培技術等の情報交換、イベント等の連携

●全国に広がる分根先と千葉市の系統保存●

1粒の古代ハスの実が3つの蓮根となり、その後多くの人々に大切にされながら、オオガハスはこれまでに国内・海外の200ヵ所以上に分根栽培されてきました。平成5（1993）年に政令指定都市移行を記念して「市の花」に制定されており、千葉市の“花の親善大使”としての役割を果たしています。

公園や公共施設、学校などの教育機関、博物館等の文化施設、民間施設や寺院などに分根され、池やプランターなどで栽培されています。

千葉市では交雑を避けるため完全に隔離された場所で系統保存栽培を行っており、オオガハスを大切に受け継いでいます。また、分根した施設の管理者等を対象に栽培技術講習会を毎年開催し、栽培技術の支援を行っています。



岡山後楽園
(写真提供 岡山県後楽園事務所)



逢初川歩行者専用道路
宮崎県西都市
(写真提供 西都市)

ちはなちゃんの豆知識 5





4-4 方向性4 オオガハスの情報発信・話題づくり

オオガハスの魅力と、オオガハスでつながり広がっていく取組みに、共感を得られるよう、インターネットメディア発信との連動、ちはなちゃん活用、イベント時の効果的な発信など、取組み全体の情報発信を強化する方向性です。

(1) 方向性4のアクションプラン（行動計画）

方向性4の6項目（⑭～⑯）のアクションプランについて、以下に示します。

※詳細は次ページ以降

【方向性4】のアクションプラン			内 容
⑭オオガハスの魅力発信アクションプラン（2028～2032）策定	a	次期魅力発信アクションプラン策定	<input type="checkbox"/> 開花80周年記念を目標とした、次期プラン（2028～2032）策定
⑮インターネットメディア発信と連動したPR展開	a	公式Webサイトの継続・充実	<input type="checkbox"/> オオガハス公式Webサイト（千葉市）の充実
			<input type="checkbox"/> 情報を得られやすいサイトづくり
			<input type="checkbox"/> ゆかりの都市等との情報交流
	b	公式SNS発信の継続・充実	<input type="checkbox"/> SNSなどでの発信充実
			<input type="checkbox"/> SNSの種類ごとの特性に合わせた発信 <input type="checkbox"/> 公式Webサイト等への誘導
c	市民等のSNS等による情報交流	<input type="checkbox"/> 発信を誘う仕掛けづくりや公式SNSでの活動発信の連携推進	
d	パブリシティ活動の充実	<input type="checkbox"/> プレスリリース、取材対応等の充実	
		<input type="checkbox"/> 情報提供による観光資源としての発信	
		<input type="checkbox"/> 外国人観光客への情報発信の連携	
		<input type="checkbox"/> イベント時など観光協会との連携充実 <input type="checkbox"/> 観光客からの公式Webサイトへの誘導	
⑯ちはなちゃんのPR活用	a	ちはなちゃんの積極的活用	<input type="checkbox"/> 市内イベントなど多方面で登場
	b	ちはなちゃん着ぐるみの更新・管理	<input type="checkbox"/> 着ぐるみの更新や管理
			<input type="checkbox"/> 関係者・団体への貸出の継続
c	ちはなちゃんの多様な展開	<input type="checkbox"/> ちはなちゃんグッズの充実 <input type="checkbox"/> ちはなちゃんイラスト利用の推進	



【方向性4】のアクションプラン		内 容	
⑰コンテンツによる効果的PR	a	プロジェクションマッピング等による効果的なPR	<input type="checkbox"/> PR効果の高い機会での展開 <input type="checkbox"/> 連携するコンテンツの制作（PR動画・SNS連動スポット・展示標本作成）
	b	JR千葉駅前の立体花壇の更新	<input type="checkbox"/> オオガハスを含めたテーマの広報物検討
	c	デジタルサイネージ等による広報	<input type="checkbox"/> 主要駅等デジタルサイネージや本庁舎内マルチビジョンによるイベント広報
	d	公共施設の装飾や演出	<input type="checkbox"/> 花見川区役所のハスを表現した展示装飾 <input type="checkbox"/> その他公共施設での装飾も継続
	e	第41回全国都市緑化かわさきフェア（R6（2024）年度）への出展	<input type="checkbox"/> オオガハスをテーマとする屋外花壇を出展
⑱2027国際園芸博覧会の出展	a	屋外出展によるPR	<input type="checkbox"/> オオガハスをテーマにした出展物の検討
	b	催事出展によるPR	<input type="checkbox"/> 屋外出展と連携した催事出展の検討

凡例 行動主体	
○ハス守さん……………	ハス守 団体 市民 行政
○オオガハス関連団体…	
○市民……………	
○行政……………	



⑭ オオガハスの魅力発信アクションプラン（2028～2032）策定

開花 80 周年に向けた取組みに先立ち、千葉市の花「オオガハス」について、市民がより愛着や誇りを育むとともに、魅力発信を広く進めていく、具体的なアクションプラン（行動計画）を体系的に取りまとめるものです。

令和 9（2027）年には、本プランの実施状況を踏まえ、次期プランを策定します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	オオガハスの魅力発信アクションプラン（2028～2032）策定	・開花 80 周年記念を目標とした、次期アクションプラン（2028～2032）の策定

●大賀ハス開花 70 周年記念事業●

昭和 27（1952）年にオオガハスが開花して 70 周年にあたる令和 4（2022）年に「開花 70 周年記念事業」が行われました。「記念誌」の発行のほか、以下のような事業を実施しました。



記念フォーラム
パネルディスカッション会場

- 1 記念フォーラム
 - (1) 記念講演「万葉の花」
(元 NHK 理事待遇アナウンサー 加賀美幸子氏)
 - (2) 基調講演「古代蓮の中の大賀ハス」
(元京都府立植物園園長 金子明雄氏)
 - (3) パネルディスカッション「オオガハスを活かしたまちづくり」



記念パネル展示「大賀ハス 70 年の歩み」

- 阪本 尚生（和歌山大賀ハス保存会会長）
 佐藤 良一（府中市郷土の森公園管理事務所長）
 南 定雄（蓮文化研究会顧問）
 神谷 俊一（千葉市長）

○コーディネーター：齊藤久芳（花びと会ちば）

- 2 記念パネル展示「大賀ハス 70 年の歩み」
- 3 記念誌の発行



大賀ハス開花 70 周年記念誌の発行
発行者：大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会

ちはなちゃん
の豆知識 6





⑮ インターネットメディア※¹発信と連動した PR 展開

従来の 4 大マスメディア（新聞・雑誌・テレビ・ラジオ）や千葉市広報紙「ちば市政だより」などの従来型のメディアに加えて、「第 5 のマスメディア※²」とも呼ばれるようになったインターネットメディアを十分に活かした PR 展開とします。

- (a) オオガハスの公式 Web サイト※³では、他の様々なメディア※⁴を経由したアクセスに対応し、目的情報を得られやすいサイトづくりを行い、PR の軸としていきます。オオガハス自体や関係する取組みの情報を総合的に掲載し、オオガハスに関心を持った人、取組みやイベントに参加したい人などが、必要な情報を得やすいサイトづくりを行います。また、ゆかりのある都市や栽培地との情報交換なども公式 Web サイトにて行っていきます。
- (b) 近年、若者からシニア層まで一般的に利用されている SNS※⁵による発信や、連携にも取組みます。千葉市都市局公式 SNS などから、イベントや栽培地の生育状況のほか、ボランティア活動の報告や募集などの情報をタイムリーに発信していきます。
SNS の種類によって利用者層や適する情報形態が異なるため、「伝わる情報」となるようターゲットを想定した上で、発信内容を工夫していきます。また、公式 Web サイトへの誘導を的確に行います。
- (c) SNS を通じてオオガハスの魅力発信が拡大していくために、ハス活動団体、市民ボランティア、さらには来訪者やイベント参加者による SNS 投稿を公式 SNS で紹介するなど、情報交流の推進をしていきます。
- (d) 新聞や放送メディアへ情報提供をするパブリシティ活動※⁶においても、希望する形で取り上げられやすいような画像・映像データを提供するなど、戦略的に取組むとともに、公式 Web サイトへの誘導がなされるようにリンク情報等を的確に提供します。
- (e) さらに、千葉市観光プロモーション部局と連携を図り、オオガハスに関する情報提供を積極的に行い、観光資源としての発信も充実していくとともに。観光関係の Web サイトとオオガハス公式 Web サイトの連携も図ります。



アクションリスト		内 容
行動主体▶ハス守・団体・市民・行政		
a	公式 Web サイト ^{※3} の継続・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・オオガハス公式 Web サイト（千葉県）の充実 ・他のメディア^{※4}からの公式 Web サイトへのアクセスに対応した、目的情報を得られやすいサイトづくり ・ゆかりの都市や栽培地等との情報交流
b	公式 SNS ^{※5} 発信の継続・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどで、オオガハス関連の発信充実 ・SNSの種類によって、ターゲット、内容の差別化をするなど効果的な展開 ・公式 Web サイト等への誘導
c	市民等の SNS 等による情報交流推進	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培地のフォトスポットづくりなど魅力発信や活動成果の投稿を紹介するなど情報交流の推進
d	パブリシティ活動 ^{※6} の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリース、取材対応などマスメディアによる発信の推進と Web サイトへの誘導
e	千葉県観光プロモーションとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・オオガハス情報提供による観光資源としての発信 ・外国人観光客への情報発信の連携 ・イベント開催時など観光協会との連携充実 ・観光客からの公式 Web サイトへの誘導

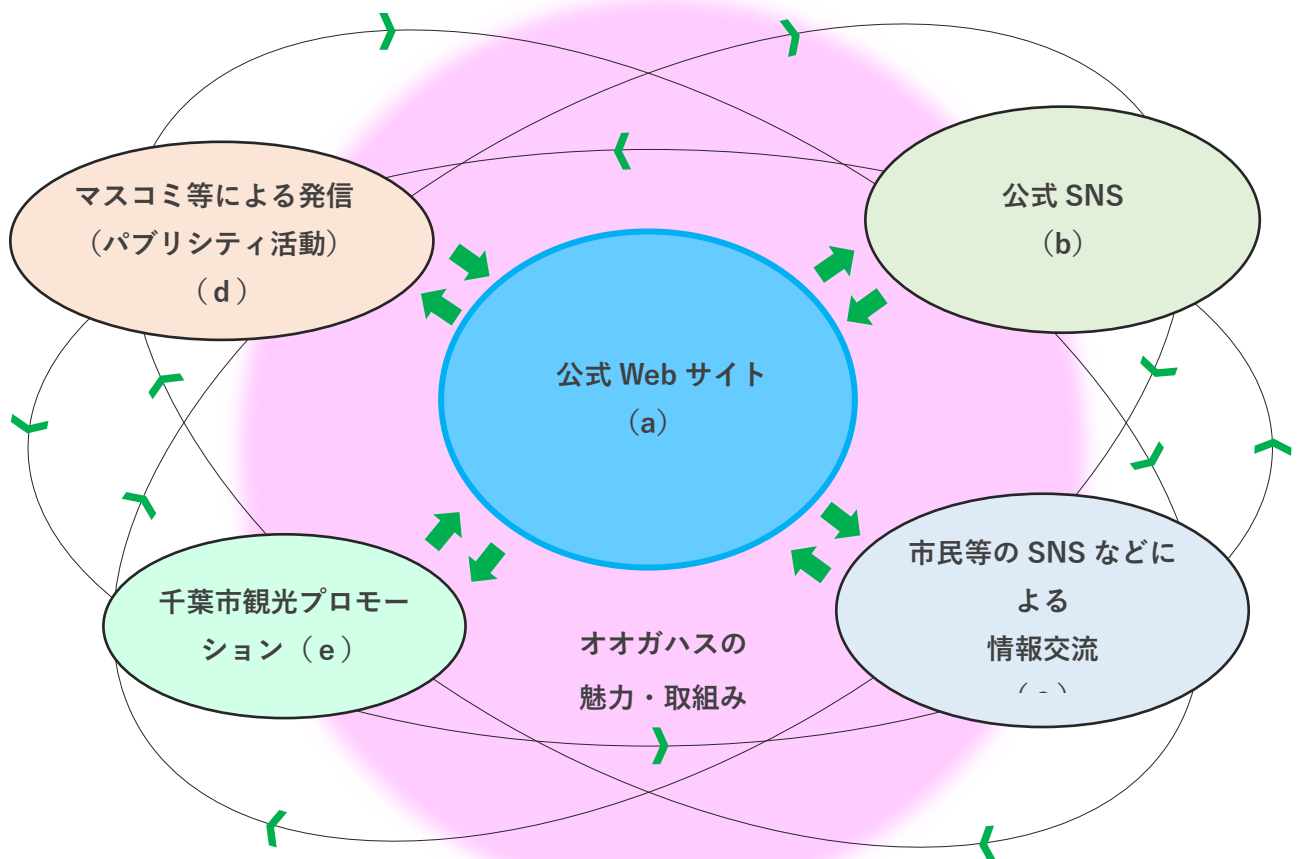


図 4-1 公式 Web ページを軸とした PR のイメージ



用語解説

※1) インターネットメディア

インターネットを介した情報発信メディア（媒体）全般のこと。Web メディアとも呼ばれています。1次情報を扱う報道機関のWeb サイト、1次情報をまとめたWeb サイト、公式Web サイト、各種SNSなど様々な形態があります。

インターネットは通信技術のことを指すのに対し、Web（World Wide Web）情報閲覧のシステムを指します

※2) 第5のマスメディア

一般的にマスメディアは新聞・雑誌・テレビ・ラジオの4媒体で、「マスコミュニケーション」の役割を担ってきましたが、急速な発達を続けるインターネットメディアは、従来の4大マスメディアに加えて第5のマスメディアと言われています。

インターネットメディアは、拡散性や速報性に優れる一方、個人で容易に発信出来るため信憑性が低い情報も発信されるデメリットも持っている。年々、影響力は増しており、2021年には国内のインターネット広告費が、マスコミ4媒体広告費を初めて上回り（1）、その後も増加の傾向が続いています（2）。

（1）参照：総務省白書/広告（令和4年版）

（2）参照：電通報（<https://dentsu-ho.com/articles/8492>）

※3) Web サイト／ホームページ

Web サイトとは、インターネット上の同一のドメイン（インターネット上の住所）にてまとめられているWeb ページの集まりのことです。また、ホームページは本来Web サイトのトップページのことを指していましたが、Web サイト全体を指して使われるようになり、現在は一般的になっています。

※4) メディア

ここでは情報を発信する媒体のことです。（各インターネットメディアのほか、各マスメディア、千葉市の広報媒体などが、他のメディアに当たります）

※5) SNS

SNS（Social Networking Service）は、個人ユーザーが情報発信し、ユーザー交流できるコミュニケーションツールのことです。（主要なSNSの特徴は別ページに記載）

※6) パブリシティ活動

広報PR活動の一種で、商品や事業に関するプレスリリースやイベントで発表したり、取材に応じたりすることで、マスコミ媒体に取り上げてもらう活動のことです。



⑩ ちはなちゃんのPR活用

平成 15 (2003) 年に「花のあふれるまちづくり」のシンボルキャラクターとして千葉公園のハス池に住むオオガハスの妖精「ちはなちゃん」を市民投票で制定しました。

ちはなちゃんの着ぐるみは平成 18 (2006) 年以降、様々なイベントに登場し、多くの市民に親しまれ、PR 活動に欠かせない存在です。今後ともイベントなどで積極的に活用し、オオガハスの好感度アップを図ります。

また、ちはなちゃんの活躍を支えるため、“着ぐるみ”の更新を適切な時期に行い、良好な状態で管理するとともに、関係者・団体への貸し出しについても継続します。

さらに、キャラクターとしての活用の幅を広げ、グッズ商品化の展開を、引き続き充実を図るとともに、事業者の商品ラベル、名刺、チラシなどへの“ちはなちゃんイラスト”のプリント利用を推進します。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
		内 容
a	ちはなちゃんの積極的な活用	・千葉市内のイベントなどの多方面にわたる登場
b	ちはなちゃん着ぐるみの更新・管理	・着ぐるみの更新や管理 ・関係者・団体への着ぐるみ貸出の継続
c	ちはなちゃんの多様な展開	・ちはなちゃんグッズの充実 ・ちはなちゃんイラスト利用の推進

⑪ コンテンツによる効果的 PR

プロジェクションマッピングやドローンショーといった注目を集める最新の演出コンテンツを PR 効果の高いイベント時などに取り入れ、オオガハスの好感度向上の機会の創出を検討します。実施の際はより効果が高まるように、PR 動画・SNS 連動スポット・展示標本作成などの連携するコンテンツ作成についても考慮します。

広告手法による広報展開として、JR 千葉駅前立体花壇は、オオガハスを含めたテーマによる広報物の更新を検討していきます。また、主要駅の JR 千葉駅でデジタルサイネージや、市役所本庁舎内の大型マルチビジョンでのオオガハスイベントの広報を実施します。

また、花見川区役所におけるオオガハスを表現した展示装飾を実施します。また、その他公共施設での装飾も継続します。

さらに、令和 6 (2024) 年度に開催される、「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」への出展花壇については、オオガハスをテーマにした PR を検討します。



アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
アクションリスト		内 容
a	プロジェクションマッピング等による効果的な PR	<ul style="list-style-type: none"> ・注目度の高いイベントなどにて、最新の演出コンテンツ実施について検討 ・連携するコンテンツの制作（PR 動画・SNS 連動スポット・展示標本作成）
b	JR 千葉駅前の立体花壇の更新検討	<ul style="list-style-type: none"> ・オオガハスを含めたテーマによる広報物の検討
c	デジタルサイネージ等による広報展開	<ul style="list-style-type: none"> ・主要駅の JR 千葉駅でデジタルサイネージや、市役所本庁舎内の大型マルチビジョンでオオガハスイベントの広報を実施
d	公共施設の装飾や演出	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区役所のオオガハスを表現した屋内装飾の実施 ・その他公共施設での装飾も継続
e	第 41 回全国都市緑化かわさきフェア（R6（2024）年度）への出展	<ul style="list-style-type: none"> ・オオガハスをテーマとする屋外花壇の出展

⑱ 2027 国際園芸博覧会の出展

「幸せを創る明日の風景」をテーマに横浜市で開催される 2027 国際園芸博覧会を、国内外へ広くオオガハスを PR する機会と捉え、オオガハスをテーマとした屋外出展と催事出展の内容で検討を進めます。

また、効果的な PR となるよう、屋外出展と催事出展を連携した内容を検討するとともに、催事においては国際的な発信・交流の場として、フォーラム等の開催を合わせて検討していきます。

アクションリスト		行動主体▶ハス守・団体・市民・行政
アクションリスト		内 容
a	屋外出展による PR	<ul style="list-style-type: none"> ・オオガハスをテーマにした出展物の検討
b	催事出展による PR	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外出展と連携した催事出展の検討



第5章 スケジュール

5-1 アクションプランのスケジュール

本プランの計画期間である令和9年（2027）年までの4年間について、前章で示したアクションプラン（行動計画）のスケジュールを次頁以降に示します。

(1) アクションプラン方向性1のスケジュール

【方向性1】
オオガハスが咲く拠点・場所づくり

【方向性1】のアクションプラン			内 容
▶	①千葉公園の拠点栽培地の整備・更新	a	中心拠点栽培地の整備 <input type="checkbox"/> 千葉公園再整備 <input type="checkbox"/> 系統保存栽培地の継続、施設等の充実
		b	蓮華亭の展示物の更新 <input type="checkbox"/> 展示施設の更新
▶	②”小さな拠点”の設定・整備	a	市内各区の”小さな拠点”の選定 <input type="checkbox"/> 候補地をもとに選定
		b	”小さな拠点”の整備・充実 <input type="checkbox"/> 各区”小さな拠点”の鑑賞環境等の整備
▶	③学校分根の充実	a	学校分根事業の継続・充実 <input type="checkbox"/> 現状把握の整理
			<input type="checkbox"/> 学校分根の継続
▶	④プランター展示	a	オオガハスの展示 <input type="checkbox"/> 開花時期のプランター展示（本庁舎・花見川区役所・JR千葉駅南口他）
▶	⑤アクセスルート整備	a	千葉公園アクセスルート整備 <input type="checkbox"/> ルートの検討
			<input type="checkbox"/> 案内板等親しみ感、利用しやすさの向上
		b	花見川区アクセスルート整備 <input type="checkbox"/> ルートの検討
			<input type="checkbox"/> 案内板等親しみ感、利用しやすさの向上

■ 事業等実施年度 □ 通常の業務・活動範囲

実施主体	本プラン計画期間（年度）				次期プラン
	2024	2025	2026	2027	2028～2032
ハス守	再整備スケジュール				
ハス守	課題確認				
ハス守					更新
ハス守					
ハス守				適宜対応	
ハス守					
ハス守	継続				
ハス守	継続				
ハス守	継続				
ハス守					
ハス守	事業化検討				
ハス守					

(2) アクションプラン方向性2のスケジュール

【方向性2】
オオガハスに集う人・仕組みづくり

【方向性2】のアクションプラン			内 容
▶	⑥ハス守さん養成・フォローアップ	a	ハス守さん養成講座の継続・充実 <input type="checkbox"/> ハス守さん養成講座の継続 <input type="checkbox"/> 養成講座内容の見直し
		b	フォローアップ開講・充実 <input type="checkbox"/> フォローアップ講座内容の検討 <input type="checkbox"/> フォローアップ講座の実施
▶	⑦ハス守さんの活動の場づくり	a	ハス守さんとの連携 <input type="checkbox"/> 連絡体制、情報共有手段の検討、設定
		b	年間活動スケジュールの設定 <input type="checkbox"/> 活動日の年間スケジュール設定、周知

実施主体	本プラン計画期間（年度）				次期プラン
	2024	2025	2026	2027	2028～2032
ハス守	継続				
ハス守	適宜対応				
ハス守	適宜対応				
ハス守					
ハス守	検討設定	継続			
ハス守		継続			

ハス守 ハス守さん 団体 オオガハス関連団体 市民 千葉市民 行政 千葉市

(4) アクションプラン方向性4のスケジュール

【方向性4】
オオガハスの情報発信・話題づくり

【方向性4】のアクションプラン			内 容	
▶	⑭オオガハスの魅力発信アクションプラン (2028~2032) 策定	a	次期魅力発信アクションプラン策定 □開花80周年記念を目標とした、次期プラン (2028~2032) 策定	
▶	⑮インターネットメディア発信と連動したPR展開	a	公式Webサイトの継続・充実 □オオガハス公式Webサイト(千葉市)の充実 □情報を得られやすいサイトづくり □ゆかりの都市等との情報交流	
b			公式SNS発信の継続・充実 □SNSなどでの発信充実 □SNSの種類ごとの特性に合わせた発信 □公式Webサイト等への誘導	
			c	市民等のSNS等による情報交流 □発信を誘う仕掛けづくりや公式SNSでの活動発信の連携推進
		d	パブリシティ活動の充実 □プレスリリース、取材対応等の充実	
e		千葉市観光プロモーションとの連携	□情報提供による観光資源としての発信	
			□外国人観光客への情報発信の連携	
			□イベント時など観光協会との連携充実	
			□観光客からの公式Webサイトへの誘導	
▶		⑯ちはなちゃんのPR活用	a	ちはなちゃんの積極的活用 □市内イベントなど多方面で登場
b			ちはなちゃん着ぐるみの更新・管理 □着ぐるみの更新や管理 □関係者・団体への貸出の継続	
c	ちはなちゃんの多様な展開 □ちはなちゃんグッズの充実 □ちはなちゃんイラスト利用の推進			
▶	⑰コンテンツによる効果的PR	a	プロジェクションマッピング等による効果的なPR □PR効果の高い機会での展開 □連携するコンテンツの制作 (PR動画・SNS連動スポット・展示標本作成)	
b			JR千葉駅前の立体花壇の更新 □オオガハスを含めたテーマの広報物検討	
c		デジタルサイネージ等による広報 □主要駅等デジタルサイネージや本庁舎内マルチビジョンによるイベント広報		
d		公共施設の装飾や演出 □花見川区役所のハスを表現した展示装飾 □その他公共施設での装飾も継続		
		e	第41回全国都市緑化かわさきフェア (R6 (2024) 年度) への出展 □オオガハスをテーマとする屋外花壇を出展	
▶	⑱2027国際園芸博覧会の出展	a	屋外出展によるPR □オオガハスをテーマにした出展物の検討	
b		催事出展によるPR □屋外出展と連携した催事出展の検討		

■ 事業等実施年度 □ 通常の業務・活動範囲

実施主体	本プラン計画期間 (年度)				次期プラン
	2024	2025	2026	2027	2028~2032
ハス守 団体 市民 行政				策定	
ハス守 団体 市民 行政	適宜充実				
ハス守 団体 市民 行政	適宜充実				
ハス守 団体 市民 行政	新設ページ	継続			
ハス守 団体 市民 行政	開設・調整	継続			
ハス守 団体 市民 行政	適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	調整・適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政			準備	実施	
ハス守 団体 市民 行政	調整・適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	調整・適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	適宜対応				
ハス守 団体 市民 行政	適宜対応		更新		
ハス守 団体 市民 行政	継続・充実				
ハス守 団体 市民 行政	継続・充実				
ハス守 団体 市民 行政	継続・充実				
ハス守 団体 市民 行政	事業化検討		連携コンテンツ制作	園芸博・75周年	80周年
ハス守 団体 市民 行政	更新検討	更新検討	更新検討	更新検討	
ハス守 団体 市民 行政					
ハス守 団体 市民 行政	継続				
ハス守 団体 市民 行政					
ハス守 団体 市民 行政	実施・PR				
ハス守 団体 市民 行政	内容検討	準備	準備	出展参加	
ハス守 団体 市民 行政	内容検討	準備	準備	催事参加	

ハス守 団体 市民 行政



●資料編

○語句解説

2章 表2-1に示した(1)～(30)の語句について、その内容等を解説する。

語句	概要
(1) 東京大学検見川厚生農場	現在の東京大学検見川総合運動場。(花見川区花園町) 資料：東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構 Web サイト (東大ハス見本園 https://www.isas.a.u-tokyo.ac.jp/lotus/index.html)
(2) 千葉公園 (弁天池)	千葉市初の総合公園として、昭和 21 (1946) 年 6 月に決定した戦災復興計画に基づいて昭和 24(1949)年から整備され、昭和 40 (1965) 年頃ほぼ現在の形になった。弁天池は現在の菖蒲園。(中央区弁天 3 丁目)
(3) 千葉県農業試験場	当時は、中央区都町に存在した、現在の千葉県農林総合研究センター。
(4) グラフ誌『LIFE』	『LIFE』(ライフ)は、1936年から2007年までアメリカ合衆国で発行されていた雑誌。写真を中心としたルポタージュやフォトエッセイで誌面が構成され「グラフ雑誌」と呼ばれた。
(5) 東京大学農学部園芸実験所	昭和 29 (1954) 年、園芸実験所として開設、造園用及び観賞用植物に関する教育と研究を目的としていた。農学部附属園芸実験所に改称されたのち、昭和 50 (1975) 年に農学部附属緑地植物実験所に改称された。(花見川区畑町) 資料：東京大学農学部公式 Web サイト (東大農学部の歴史 https://www.a.u-tokyo.ac.jp/history/history4.html)
(6) 千葉はすの会	千葉公園にて、古代ハスを愛でる風流人の集いとして、昭和 31 (1956) 年から毎年オオガハスの開花記念日である 7 月 18 日に、「千葉はすの会」が平成 12 (2000) 年まで開催された。 資料：オオガハス開花 70 周年記念誌※ 大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会 令和 5 (2023) 年 3 月 (※以下、同資料名のみ記載)
(7) 東京大学検見川運動場	現在の東京大学検見川総合運動場。(1) 参照。



語句	概要
(8) 第1回花園ハス祭り	昭和42(1967)年から、花見川区花園地区ではオオガハスをシンボルとして、観蓮会・子供祭り行進・納涼祭の3本立てで夏祭りが行われるようになった。
(9) 花園公園	千葉市の街区公園。設置年月日：昭和34(1959)年4月1日 全体面積3,931㎡(花見川区花園2丁目11)
(10) 和歌山大賀ハス保存会	昭和37(1962)年、和歌山県美浜町日の岬に分根され、昭和40(1965)年から同会は活動している。
(11) 舞妃蓮 <small>まいひれん</small>	昭和41(1966)年に御坊市の阪本祐二氏が、アメリカの黄花ハス「王子蓮」と「大賀蓮」を交配して作り出したハス。
(12) 中日友誼蓮 <small>ちゅうにちゆうぎれん</small>	中国科学院武漢植物園が中国古代蓮と「大賀蓮」を交配させ作り出したハス。
(13) みなと公園	千葉市の地区公園。設置年月日：昭和45(1970)年10月1日 全体面積：33,840㎡(中央区千葉港6)
(14) 国際花と緑の博覧会	平成2(1990)年4月1日から9月30日の183日の会期で、鶴見緑地(大阪府大阪市鶴見区・守口市)で開催された国際博覧会で、アジア初の国際園芸家協会の国際園芸博覧会である。 会場面積は約140haで、「花と緑と人間生活のかかわりをとらえ21世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす」をテーマとし、日本を含む83カ国と55の国際機関、212企業・団体が参加した。 総来場者数は2312万6934名で、特別博覧会史上最高を記録した。 資料：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会公式Webサイト https://www.expo-cosmos.or.jp/
(15) 蓮華汀 <small>れんげてい</small>	千葉市が「国際花と緑の博覧会」に出展した庭園。「いのちの海」と呼ばれる大池に、オオガハス、 <small>ちゅうにちゆうぎれん</small> 中日友誼蓮、 <small>まいひれん</small> 舞妃蓮等の花ハスを展示した。



語句	概要
(16) 千葉公園ハス池	<p>前述(2)参照。平成4(1992)年に千葉市の政令指定都市への移行を記念に、翌5(1993)年3月綿打池脇にハス池(900㎡)と、ハスを間近で眺めることができる木道と芝生広場を整備し、綿打池の水の循環を利用した栽培池となっている。</p>
(17) 蓮華亭 ^{ねんげてい}	<p>平成6(1994)年にハスの展示施設として、ハス池隣に建設され、外周のデッキからは開花したハスの花を一段高い位置から見渡すことができる。名称は「国際花と緑の博覧会」に出展した「蓮華汀^{ねんげてい}」にちなんでいる。</p>
(18) 花園ハス祭り実行委員会	<p>花園地区(花見川区)の地域住民で結成された団体。</p>
(19) 「緑地植物実験所の存続を求める請願」	<p>平成16(2004)年、東京大学は、検見川の東大総合運動場に大学の各地の実験農場施設の集約することを、地元の自治会へ了承を求めた。ところが平成19(2007)年、一転して緑地植物実験所を西東京市に移転する計画が提示された。これに対し地元では、オオガハス発掘の地として緑地植物実験所の存続を求める活動を開始し、53,000人余りの署名を集めた。また千葉市市議会は、平成20年第1回定例会で地元の町内自治会連絡協議会から提出された「緑地植物実験所の存続」を求める請願を全会一致で採択した。しかし、平成24(2012)年3月、同実験所は閉鎖され西東京市に移転した。</p> <p>資料：オオガハス開花70周年記念誌(※(6)) : 千葉市議会 Web サイト https://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html</p>



語句	概要
(20) 花びと会ちば	<p>平成 20 (2008) 年に「花とひとのネットワーク実行委員会」として発足し、平成 27 (2015) 年に「花びと会ちば」と名称が変更された。</p> <p>この会は花の活動に関わる市民・企業・生産者等が協力・連携することにより、千葉市における花のあふれるまちづくりの推進を目的にしている。</p> <p>活動は、毎年、千葉公園において「大賀ハスマつり」を千葉市と共催しているほか、市のイベントへの協力、公開講座や様々な講習会や研修会の開催、諸団体への講師の派遣、会報「花びと通信」の発行を行っている。</p> <p>資料：オオガハス開花 70 周年記念誌 (※ (6))</p>
(21) オオガハスの観察会	(25) 大賀ハスマつり参照
(22) 大賀ハスを観る会	(25) 大賀ハスマつり参照
(23) 駅からハイキング	<p>東日本旅客鉄道株式会社が主催する、駅を基点として季節に応じた地域の魅力を巡るウォーキングイベント。千葉市内では、オオガハス観賞、青葉の森公園や千葉観光名所などを巡る企画が実施されている。</p> <p>資料：公益社団法人 千葉市観光協会 Web サイト https://www.chibacity-ta.or.jp/</p>
(24) 大賀ハスのふるさとの会	<p>平成 24 (2012) 年 3 月、緑地植物実験所閉鎖され西東京市に移転した後、同年 5 月、東京大学から千葉市が旧緑地植物実験所を借り受け、地域住民がハスの栽培を始める。</p> <p>実験所存続活動に携わった人々が開花 60 周年である平成 24 (2012) 年 6 月に集まり、「大賀ハスのふるさとの会」が発足し、7 月には荒れていた圃場を手入れし、観蓮会の開催にこぎつけた。以後、毎年観蓮会を開催している。</p> <p>「大賀博士の遺されたハスの文化の伝承と普及」を活動目標に掲げ、①旧緑地植物実験所の管理と花ハスの栽培、②観蓮会の開催、③ハス栽培講習会の開催、④近隣学校の蓮池の栽培指導・普及などの活動に会員は取り組んでいる。</p> <p>参考：オオガハス開花 70 周年記念誌 (※ (6))</p>



語句	概要
(25) 大賀ハスマつり	<p>千葉公園の蓮華亭周辺にて、オオガハス開花の時期に合わせて行われるイベントで、千葉市と市民団体「花びと会ちば」が共催している。</p> <p>(催事内容等は、本プランのコラム「大賀ハスマつりとちはなちゃんのお誕生日会」に記載)</p> <p><大賀ハスマつりの経緯></p> <p>このイベントは平成 28 (2016) 年から毎年 (令和 2 (2020) 年度、令和 3 (2021) 年度を除く) 開催されている。</p> <p>平成 20 (2008) 年、同 21 (2009) 年は「オオガハスの観察会」、同 22 (2010) 年～ 27 (2015) 年は「大賀ハスを観る会」と名前や規模を変えて実施されていた。</p> <p>参考：オオガハス開花 70 周年記念誌 (※ (6))</p>
(26) 4つの地域資源	<p>「千葉市都市アイデンティティ戦略プラン」において、千葉市のイメージを形成する下地となる固有の歴史やルーツに根ざした地域資源として、「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」の4つを選出し、都市アイデンティティ形成のための各種事業に取り組んでいる。</p>
(27) 千葉市みずほハスの花図書館	<p>千葉市花見川区の図書館。</p> <p>(花見川区瑞穂 1-1 花見川区役所 1 階)</p>
(28) 千葉市の花オオガハス制定 25 周年記念シンポジウム	<p>市の花制定からの歴史の振り返りや魅力発信について考えるシンポジウムが大賀ハスマつり (6 月 16 日～6 月 24 日) の期間中に開催された。</p>
(29) ハス守さん養成講座	<p>(本プランのコラム「ちはなちゃんの豆知識 3・ハス守さん養成講座」に記載)</p>
(30) 大賀ハス開花 70 周年記念事業	<p>(本プランのコラム「ちはなちゃんの豆知識 6・大賀ハス開花 70 周年記念事業」に記載)</p>